

## 設定の手順

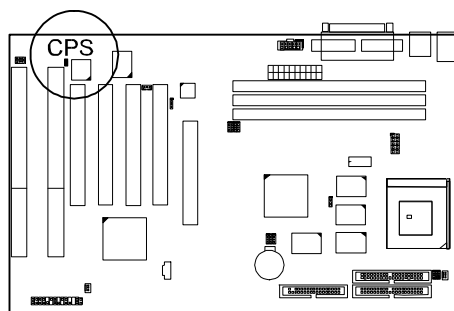
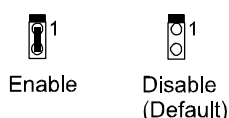
このマザーボードは各ユーザのシステムに適応した設定ができるように、いくつかの変更可能なジャンパー/スイッチがボード上に設置されています。この章ではそれぞれのジャンパーの設定について説明します。以下のステップに従い、コンピュータの組み立て及び設定を進めてください。

- ステップ1  
システムジャンパーの設定
- ステップ2  
メモリモジュールの装着
- ステップ3  
CPUの装着
- ステップ4  
拡張カードの装着
- ステップ5  
各ケーブル類と電源の接続
- ステップ6  
BIOSの設定
- ステップ7  
サポートソフトの設定

**注意：**このマザーボードをケースに設置する際に、電気ドリルを使用する場合は静電気防止リストを着用してください。チップのピンに損傷を与えないために、推奨するトルクは5.0 ~ 8.0 kg/cmです。

## パスワードの解除 CPS

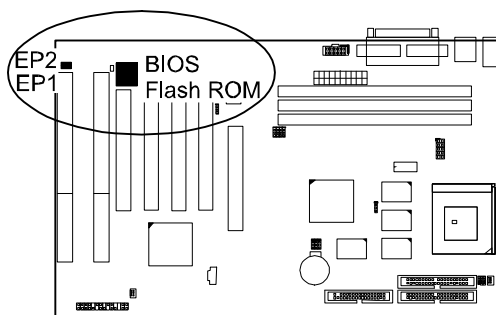
このジャンパーで、パスワードの設定を有効または無効にします。パスワードを忘れた場合は次の手順でパスワードを解除できます。(1) コンピュータの電源を落とします。(2) このジャンパーにジャンパーキャップを被せてショートさせます。(3) コンピュータに電源を投入します。(4) ブート時にDeleteキーを押してBIOS Setupに入り、新しいパスワードを入力してください。(5) コンピュータの電源を落とします。(6) ジャンパーキャップを外します。(7) 再度コンピュータに電源を投入すると新しいパスワードが有効になります。



## Flash ROMタイプの選択 EP1, EP2

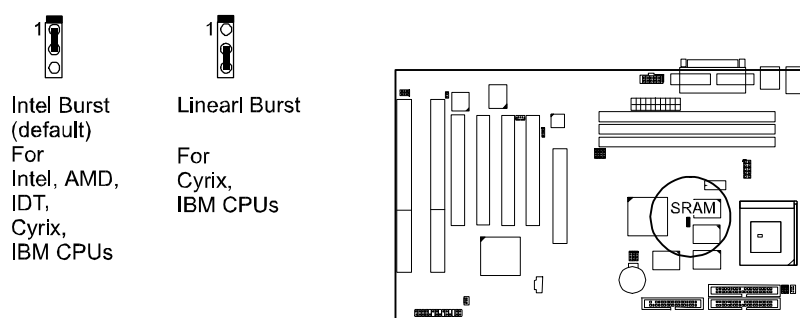
この2つのジャンパーで、Flash ROMチップのタイプを選択できます。このジャンパー設定は、このボードの製造上のデフォルト値に設定されています。マザーボードに装着されているFlash ROMのタイプを確認する場合は、チップのステッカーをはがして確認してください。

1MB	Intel 28F001BX	EP2	1
	MXIC 28F1000PQC	EP1	1
	SST 29EE010	EP2	1
	ATMEL AT29C010A	EP1	1
2MB	MXIC 28F2000TPC	EP2	1
	SST 29EE020	EP2	1
	ATMEL AT29C020	EP1	1
	AMD AM29F002NT	EP1	1



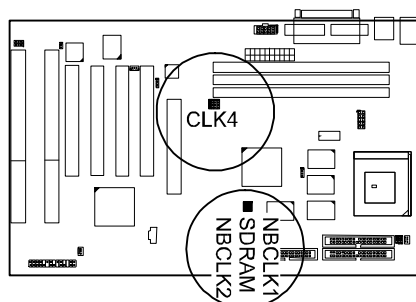
### データ転送モードの選択 SRAM

このジャンパーでCPUがSRAMにデータを転送する方法(読み込み・書き込み)を選択します。CyrixまたはIBM CPUを使用する場合は、2-3 pinのペアに設定します。この機能のより詳しい設定方法については「BIOS設定」の「Linear Burst」の項目を参照してください。



**DIMM周波数の設定: CLK4,  
SDRAM**

**システム周波数の設定 NBCLK1,  
NBCLK2**



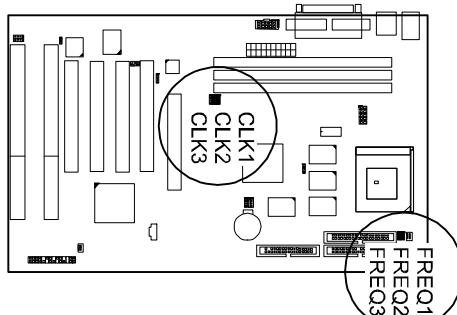
CPU External Freq. \ DIMM Freq.	PC-100 -7ns, -8ns	Non PC-100 -8ns, -10ns, -12ns, above	
124MHz 112MHz	N/A		
100MHz 95MHz 83MHz			
75MHz 68MHz		<p>*</p>	<p>**</p>
66MHz		<p>(Default)</p>	

\* set for stable performance,

\*\*set for high performance, but some SDRAM may make the system unstable.

### CPU外部（バス）周波数の設定 CLK1, CLK2, CLK3

次の表は各CPU速度に対するジャンパー設定を示したものです。



66MHz		68MHz		75MHz		83MHz	
95MHz		100MHz		112MHz*		124MHz*	

注意: \* これを選択した場合はシステムの性能が安定しません。

### 倍速モードの設定 FREQ1, FREQ2, FREQ3

これら3つのジャンパーは、CPUの内部周波数と外部クロックとの比率を決定するために組み合わせて使用します。

2 x		3 x (2 x for AMD-K5)		4 x		5 x	
2.5 x (1.75 x for AMD-K5)		3.5 x (1.5 x for AMD-K5)		4.5 x		5.5 x	

## CPU周波数の設定

モデル	周波数	外部周波数	倍率
Intel Pentium MMX-233	233	66	3.5 x
Intel Pentium MMX-200	200	66	3 x
Intel Pentium MMX-166	166	66	2.5 x
Intel Pentium-200	200	66	3 x
Intel Pentium-166	166	66	2.5 x
Intel Pentium-133	133	66	2 x
Intel Pentium-100	100	66	1.5 x
AMD-K6-2-400*	400	100	4 x
AMD-K6-2-366*	366	66	5.5 x
AMD-K6-2-350	350	100	3.5 x
AMD-K6-2-333	333	95	3.5 x
AMD-K6-2-300	300	66	4.5 x
		100	3 x
AMD-K6-300	300	66	4.5 x
AMD-K6-266	266	66	4 x
AMD-K6-233	233	66	3.5 x
AMD-K6-200	200	66	3 x
AMD-K6-166	166	66	2.5 x
AMD-K5-PR200	133	66	2 x
AMD-K5-PR166	116	66	1.75 x
AMD-K5-PR133	100	66	1.5 x
AMD-K5-PR100	100	66	1.5 x
Cyrix M II-350*	300	100	3 x
IBM 6x86MX-PR350*	291	83	3.5 x
	300	75	4 x
Cyrix M II-333 IBM 6x86MX-PR333	266*	66*	4 x*
	263*	75*	3.5 x*
	250	83	3 x
	250*	100*	2.5 x*
Cyrix M II-300 IBM 6x86MX-PR300	225	75	3 x
	233	66	3.5 x

(次のページへ)

### 注意:

- \* このCPUタイプは本書作成時にリリースされていなかったため、テストが完了していません。
- 最新情報はFIC Webサイト (<http://www.fic.com.tw>) をご覧ください。

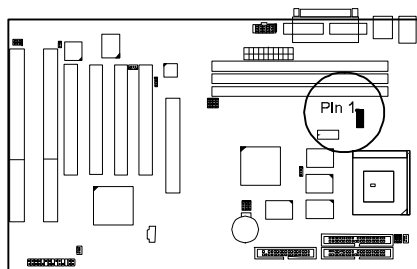
(前ページより)

モデル	周波数	外部周波数	倍率
Cyrix/IBM 6x86MX-PR266	208	83	2.5 x
Cyrix/IBM 6x86MX-PR233	166	83	2 x
	188	75	2.5 x
Cyrix/IBM 6x86MX-PR200	166	66	2.5 x
	150	75	2 x
Cyrix/IBM 6x86MX-PR166	133	66	2 x
Cyrix/IBM 6x86L-PR200+	150	75	2 x
Cyrix/IBM 6x86L-PR166+	133	66	2 x
Cyrix/IBM 6x86-PR200+	150	75	2 x
Cyrix/IBM 6x86-PR166+	133	66	2 x
IDT WinChip2-200	200	66	3 x
IDT WinChip-200	200	66	3 x

## CPU電圧の設定

このマザーボードでサポートされているCPU電圧（内部電圧）は以下の通りです。CPU電圧ジャンパーは2列に並んでいます。

**注意：**実際のCPU電圧についてはCPU上に記載されているマーキングをご参照ください（IO電圧は3.3Vです）。



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
3.5V	3.4V	3.3V	3.2V	3.1V	3.0V	2.9V	2.8V	2.7V
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
2.6V	2.5V	2.4V	2.3V	2.2V	2.1V	2.0V	1.9V	1.8V

余白